



# 奮闘記19



-2011 6月-

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

活動日

6月1日 棚田保全をキーワードに9名参加。  
雲のわき間から青空がのぞく。梅雨期なのにさらっとした快風あり。下から二段目(二枚目耕作)に入る。「目標に向かって歩こう」確実に前に向かって進んでいる。耕した後はイモの苗を植えようぜ…。さら地なのでデッカイ芋が入る～ゾ～。スコップ、備中鍬に力が入る。水分補給を忘れずに!



6月12日 座禅や立禅があるように、棚禅もあることに気付いた。仲間がいていい汗かけばガンバレ。「一人では寂しい 二人ではわずらわしい」高山西方寺の副住職の言葉を思い出す。ここが農の主戦場である。三枚目の耕作地は約50坪、一面ヒマワリを咲かそうとの提案で、全員三枚目に立つ。下から見上げる。チャレンジする価値はありそうだ。  
(参加人数13名)

6月15日 「足を忘れた都会人」協力隊員は棚田までテクテク歩く。果てしなき草刈、耕作地から早く来いよと呼んでいるようだ…。三枚目の畑に突然…30センチ程の穴が開いた。陥没か?中を覗くと約一m四方の空洞ができています。雨が降っても耕作地に水が溜らない訳だ。放置できないので、穴を埋める。帽子のつばから汗がしたたり落ちる。他の耕作地もこのような箇所があるかも知れない…心したい。  
(参加人数15名)



タマネギ収穫 (6/26)



ジャガイモ収穫 (6/26)



ゴボウ生育 (6/26)



ヒマワリ畑の畦作り

梅雨の雨は百穀を潤すという。作物にとっても恵みの雨である。活動で大粒の汗をかいたご褒美として棚田からタマネギ、ジャガイモ等が頂ける。どれも五臓六腑にしみわたる味である。ごぼう(ごんぼ)の発育も順調、晩秋が楽しみ。6月は事故なく体調不良なく頑張れた。7月は夏本番、食欲減退期に入ります。涼しさを求めるのではなく棚田に立ち人も光合成をすることで、新陳代謝が高まり食欲モリモリ…農の草刈に奮闘しましょう。無理のない範囲で…。